

4 環境衛生活動のしくみと働き

はじめに

学習指導要領にどのように書かれているかを確認することから始めます。この単元は学習指導要領上の位置づけとしては、

(3) イ 環境と食品の保健 (ア) 環境保健にかかわる対策

 の内容に該当します。

指導要領解説には、

上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物の処理などの環境衛生活動は、自然や学校、地域などの社会生活における環境と健康を守るために行われていることを理解できるようにする。また、その現状、問題点、対策などを総合的に把握し改善していかなければならないことについて、安全で良質な水の確保や廃棄物の処理と関連付けて理解できるようにする。

なお、ア、イ、ウの内容において法律等を取り扱う際には、個々の名称よりも、こうした法律等が制定された背景や趣旨を中心に理解できるようにする。

と書かれています。

【理解できるようにすること】

- 上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物の処理などの環境衛生活動は、自然や学校、地域などの社会生活における環境と健康を守るために行われている。
- その現状、問題点、対策などを総合的に把握し改善していかなければならないこと。
(安全で良質な水の確保や廃棄物の処理と関連付けること)
- 法律等を取り扱う際には、個々の名称よりも、こうした法律等が制定された背景や趣旨を中心に理解できるようにする。

授業づくりの実際（指導と評価の一体化を意識して）

内容の取扱いの(8)には、指導に際しては、知識を活用する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫を行うものとする。となっています。これは、「保健」の指導に当たっては、知識の習得を重視した上で、知識を活用する学習活動を積極的に行うことにより、思考力・判断力等を育成していくことを示したものである。指導に当たっては、ディスカッション、ブレインストーミング、ロールプレイング（役割演技法）、実習や実験、課題学習などを取り入れること、地域や学校の実情に応じて養護教諭や栄養教諭、学校栄養職員など専門性を有する教職員等の参加・協力を推進することなど多様な指導方法の工夫を行うよう配慮することを示したものです。

《例示》

【知識・理解】→指導方法と評価方法の検討

- ごみ処理の方法について（焼却、埋め立て、堆肥化、飼料化、リサイクルなど）
- ごみ処理の問題点と対策について
- 上水道の整備について（問題点と対策を含む）
- 下水道の整備とし尿処理について（問題点と対策を含む）

【思考・判断】→指導方法と評価方法の検討

- 安全でおいしい水を飲んだり、ゴミを適切に処理するために、私たちができることを、グループで話し合ってみよう。

【関心・意欲・態度】→評価方法の検討

○今日の学習のどの場面でどのように評価するか。

上記の指導方法や評価方法を念頭に、指導内容の順序や発問の仕方、知識を活用する学習活動の取り入れ方などを工夫し、1時間の授業を組み立てていきます。

本単元のキーワード

「一般廃棄物」「再資源化」「再生利用」「トリハロメタン」「合併処理浄化槽」